

出雲大社

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東195



神社建築屈指の巨大な社殿に全国の神が集合

出雲国(島根県)は、古代日本において、渡来人によって伝えられた農耕や製鉄など最新技術の発信地だった。出雲大社の主祭神である大国主の神は各地に農業や医術を広めた「国づくり」の神とされる。『古事記』によれば、大国主大神は天照大神に国を譲ったが、代わりに自分を大きな社にまつことを求めた。このため、出雲大社の本殿は、現在でも全高24メートルと神社建築では最も巨大だ。「大社造り」と呼ばれる様式の代表格で、巨大な柱を用いた高床が特徴。現在の境内では、神話で大国主命に助けられたといわれる「因幡の白うさぎ」を模した石像が多数置かれている。例年、「神無月」こと旧暦10月には、日本各地の神が出雲へ集まるために姿を消すといわれる。出雲大社ではこの月を「神在月」と呼び、御神火を焚いて神々を迎える「神在祭」を行なっている。

稲佐の浜

〒699-0702 島根県出雲市大社町杵築北2711



古事記の舞台！神々の息吹を感じる神迎いの浜と岩

海岸線「稲佐の浜」の浜辺に、「弁天島」と呼ばれる岩が立っています。神々が集われたという伝説が残されている地で、伝説によると、旧暦10月10日に、出雲大社では神々による大会議が行われていました。その際、神々が最初に足を踏み入れるのが「稲佐の浜」だといわれています。現在でも「神迎え神事」として、毎年かがり火が起こされます。弁天島には、海の神様「豊玉毘古命(とよたまひこ)」が祀られており、鳥居と祠が建てられています。出雲大社前駅より徒歩で約22分の場所にあります。

須我神社

〒699-1205 島根県雲南市大東町須賀260

古事記に記された八岐大蛇（やまたのおろち）退治で、スサノオノミコトが命を救ったクシナダヒメとの新居として造った宮殿が、神社の元になったといわれています。その神社こそ、須賀神社。由緒ある“日本初之宮”として、今も厚い信仰が寄せられています。



須我神社はスサノオノミコトとクシナダヒメ、その御子（みこ）神を主祭神とし、夫婦円満や良縁成就、子授けなどを願う参拝者が多く訪れます。石段を上がって随神門をくぐると、まず目に飛び込んでくるのが大社造の本殿の両脇に立つ一对の杉の巨木。空高くまっすぐに伸びた姿は神殿を守るようで、静かな境内でひととき威厳を放ちます。

本殿の背後には八雲（やくも）山がそびえ、麓から約400メートル登った中腹に須我神社の奥宮（おくのみや）があります。小さな祠（ほこら）の横に寄り添って鎮座する三つの巨石は、主祭神3柱を祭ったご神体。かつては奥宮に須我神社があったといわれており、杉木立に囲まれた一帯はひんやりと涼しく、神聖な気配が漂います。

スサノオノミコトは、この地にたどり着いて「すがすがし」と言い、宮殿を囲んで沸く雲を見て「八雲立つ出雲八重垣妻ごみに八重垣つくるその八重垣を」と詠んだと伝えられています。この古事が、須賀の地名と出雲の国名の起源とされ、須賀地区は日本の和歌発祥の地ともなされています。

八重垣神社

〒690-0035 島根県松江市佐草町227

山陰道（松江道）松江中央ICより車で約6分



須佐之男が須賀から宮を移し、櫛名田比売と住んだ地といわれ、須佐之男と櫛名田比売を祭神とする。大蛇退治のときに巨木のまわりに八重の垣を巡らせ、比売を隠したという伝承から、大きなウロをもつ杉の古木を御神木として祀る。須佐之男と櫛名田比売を描いたとされる、日本最古の神社障壁画(国重文指定)も残る。

「八雲立つ 出雲八重垣 妻込めに 八重垣造る その八重垣を」
という妻をめとった喜びの御歌から、『八重垣の宮』となりました。

八重垣神社佐久佐女の森

〒690-0035 島根県松江市佐草町



佐久佐女の森とは

境内奥地の佐久佐女の森は、素盞鳴尊すさのおのみことが八岐大蛇やまたのおろちを御退治になる際、稲田姫を難からお救いになった場所です。森の大杉の周囲に「八重垣」を造り、稲田姫をお隠しになりました。

八重垣神社 鏡の池

〒690-0035 島根県松江市佐草町



鏡の池

稲田姫命が八岐大蛇の難を避けるため、八重垣にお隠れになった時に飲料水とし、また御姿をお写しになられた池と伝えられています。稲田姫命の御霊魂が深く滲透した池は、ご縁の遅速を占う池として知られ、池の奥には稲田姫命をお祀りする「天鏡神社」が鎮座しています。

黄泉比良坂

〒699-0101 島根県松江市東出雲町揖屋2407



伊邪那岐命(イザナギノミコト)は死んでしまったイザナミノミコトに会いたくて、黄泉の国に行くが、変わり果てた姿におののき走って逃げ帰ります。追っ手が来る中やっとの思いで脱出し、ちびきの岩で封印をします。その場所が「黄泉比良坂」です。

「出雲国の伊賦夜坂(いふやさか)」ともいわれ、現在の東出雲町の揖屋に揖夜神社(いやじんじゃ)があり、このあたりを指したと言われています。



揖夜神社(いやじんじゃ)

〒699-0101 島根県松江市東出雲町揖屋2229



揖屋神社は『出雲国風土記』に伊布夜(いふや)社として記載されている古社で、中央でも重視された神社です。

主神祭は日本の国生み神話で有名な伊弉冉命(いざなみのみこと)です。

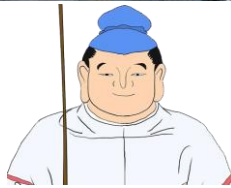
本殿は大社造り、神座は出雲大社と反対で、左から右に向かってるのが特徴です。

美保神社

島根県安来市中海町118-1



ことしろぬしのかみ
事代主神 (えびす様)



海上安全・大漁満足・商売繁盛・学業・歌舞音曲(音楽)

大国主神の第一の御子神。鯛を手にする福德円満の神えびす様として世に知られ、「海上安全、大漁満足、商売繁昌、歌舞音曲(音楽)、学業」の守護神として篤く信仰されています。また、出雲神話・国譲りの段において御父神・大国主神より大変重要な判断を委ねられた尊い神様です。

みほつひめのみこと
三穂津姫命

五穀豊穰・夫婦和合・安産・子孫繁栄・歌舞音曲(音楽)

高天原の高皇産霊命の御姫神で、大国主神の御后神。高天原から稲穂を持ってお降りになり、人々に食糧として配り広められた神様で「五穀豊穰、夫婦和合、安産、子孫繁栄、歌舞音曲(音楽)」の守護神として篤く信仰されています。また、美保という地名はこの神の御名に縁があると伝えられています。

時間があれば立ち寄りたいところ

**道の駅大社ご縁広場
出雲物産館**

島根県出雲市大社町修理免735-5

TEL 0853-53-5150

営業時間 9:00~19:00 年中無休

郷土料理の出雲そば、地元のお土産や地酒を揃えた道の駅です。
神門通りをまっすぐ進むと、出雲大社があります。



献上そば羽根屋 伝承館店

営業時間：11時～14時30分 閉店時刻：14:30

そばが無くなり次第閉店する場合があります。

〒693-0054 島根県出雲市浜町520

TEL：0853-25-0312

